

2019年度第1回なにわECOスクエア（生物多様性の保全に向けたネットワーク会議）
議事要旨

日時：2019年11月21日（木）10時～12時20分
会場：環境活動推進施設（愛称「なにわECOスクエア」）1階
参加者：15名
配布資料：次第

【資料1】なにわECOスクエアを拠点とした新たな連携・協働の仕組みについて

【資料2】大阪市生物多様性戦略に基づく主な取組み【環境施策課】

【資料3】ピオトープリーダー養成講座チラシ

その他 大阪市生物多様性、同リーフレット、参加団体資料

● 開会

（大阪市 あいさつ）

本市では、2018年3月に「大阪市生物多様性戦略」（以下、「戦略」とする。）を策定した。戦略の策定にあたっては、各方面の方々から様々なご意見をいただいたが、今後の推進にあたっては、多様な主体が参画できる仕組みを構築していくことが非常に重要であると考えている。本日の会議は、そのような仕組みを構築していく第一歩として、昨年度から開催しており、今後も継続的に実施していきたいと考えているため、よろしくごお願い申し上げます。

● 出席者自己紹介

● 議題1 なにわECOスクエアを拠点とした新たな連携・協働の仕組みについて
資料1に基づき、大阪市より説明。

➤ 「新たな連携・協働」の仕組み概念図について

・「事業者」とあるが、どのような想定をしているのか。

企業の社会貢献活動（CSR）等で生物多様性保全に関する取組みをしている企業等を想定している。

・「市民」とは、大阪市内に住んでいる人に限るのか。

大阪市在住の方に限っているわけではなく、市内に暮らす人に加えて、市外から通勤、通学する人等も含めて「市民」としている。

➤ その他

・「大阪市生物多様性戦略」と「おおさか生物多様性施設ガイド」（大阪府作成リーフレット）の違いは何か。

大阪府と大阪市は別の組織であり、前者は大阪市が策定した戦略。後者は大阪

府が作成した、大阪府下の生物多様性に関連する施設を紹介するもの。大阪府には「生物多様性戦略」と銘打ったものはないが、「大阪 21 世紀の新環境総合計画」の中に生物多様性に関する項目を設け、施策の展開を行っている。

- 議題 2 「大阪市生物多様性戦略」に基づく主な取組み【環境施策課】

資料 2 に基づき大阪市より説明。

(意見要旨)

- 天王寺動物園におけるイベントについて

- ・ナイト ZOO において、夜に生演奏等大きな音を立てたり、フラッシュ撮影をする等、動物たちの負担となる行為はなかったか。

生演奏はあったが、動物のストレスとならない範囲で動物園と調整の上実施した。フラッシュ撮影については、環境学習イベントの中では行っていない。

- 生物多様性関連イベント等の周知方法について

- ・戦略における具体的施策に基づく取組みとして行っているイベント等の情報はどのように周知しているか。情報が集約されたホームページ等はあるのか。

「なにわエコスタイル」(<http://naniwa-ecostyle.net/>)という環境学習ポータルサイトに掲載している。このホームページは今年度リニューアルすることとしている。今後は SNS を活用した周知も行っていく予定。

- その他

- 【参加者の活動報告等】

- なにわエコ会議

- ・なにわエコ会議では、既存の 3 部会（エコライフ部会、環境教育・啓発部会、環境に配慮した企業部会）に加えて、今年 6 月に生物多様性部会を立ち上げた。現在部会に参加し、活動していただける人を募集している。

- ・現在は、淀川等の河川での水生生物の観察等の活動を考えている。

- 認定 NPO 法人大阪自然史センター

- ・11 月 16 日、17 日に自然史博物館において開催した自然史フェスティバルでは、来場者数が 1 日目 14,000 人、2 日目 12,000 人と過去最高となった。今年で 17 回目となるが、年々出展ブース数も増えている。一般の参加者も多く、情報交換や普及啓発の場となっている。

- 環境科学研究センター

- ・(モニタリング調査)北港処分地南地区(夢洲)において、ハエ、ハナアブ、ユスリカ等の害虫及びドブネズミ等のモニタリング調査を行い、発生量の監視や防除法の検討を行っている。

- ・(勉強会の実施)2018 年度には市民の方からの要望により、特定外来生物アルゼ

ンチンアリの特徴と生物学的特性について講演を行った。

・(データ整理解析等調査研究)環境局からの依頼に基づき、戦略における具体的施策「身近なところで生き物・植物を見つけよう」を具現化するために環境局が行っている「市立小学校における生き物さがし」の結果の解析等調査研究を実施。小学4年生を対象に、生き物たちが持つ「個性とつながり」をキーワードに授業を実施している。

【大阪市より報告等】

- ピオトープリーダー養成講座(資料3)
 - ・自然体験観察園の水田 A を湿地化するプロジェクトを行っている。どなたでもご参加いただけるプロジェクトとして実施している。

【その他ご意見等】

- なにわエコ会議となにわ ECO スクエア(生物多様性の保全に向けたネットワーク会議)の組織としての機能の枠組みについて
 - ・なにわエコ会議は地球温暖化防止活動を推進することを目的として発足しているが、近年の情勢に合わせ環境活動全般に関して活動していくことを目的とし、規約の変更を行っている。なにわエコ会議も、本日参加いただいている様々な団体の1つとして協働していく。
- 「おおさか環境科」の活用について
 - ・大阪市内の小中学生には副読本「おおさか環境科」が配布されている。取組みの中でも活用できる。
- 会議の目的について
 - ・現在の取組みは普及啓発がメインだが、本来の目的は生物多様性の保全である。保全や復元にどうつなげていくかを会議の中で議論するべきである。協働の仕組みづくりも含めて、今後どのように議論していくのか。
戦略に基づき、多様な主体が参画できる仕組みを構築していきたいと考えており、みなさまから広く意見をもらいながらプラットフォームを作っていきたいと考えている。生物多様性の保全が目的ではあるが、まずは生物多様性の意味を知ってもらうことを目標としている。
- 本会議の広報について
 - ・大阪市ホームページに開催案内が掲載されているが、直近の議事録が掲載されていないため、どのような会議であるかホームページを見ても分からない。
 - ・今回の案内が掲載されたのも直前だったため、広く参加を呼びかけたいのであれば、広報の方法を工夫するべき。
今回の広報について、直前となってしまったため、次回以降なるべく早い段階

で周知していきたいと考えている。

➤ 普及啓発以外の取組みについて

・現在の取組みは普及啓発が主になっているが、普及啓発ばかりではなく、プラスチックの使用をやめることや殺虫剤・農薬等の使用をやめるなど、自らの行動を変えるような取組みを推進していくべきであるとする。

戦略の推進にあたっては、生物多様性保全に向けて、まずは市民の方々に生物多様性の意味を知ってもらうことを目標としている。

➤ 大阪城公園について

・大阪城公園は緑化重点地区となっているにも関わらず、指定管理者により劇場が建てられたり、木が切られたり、電飾を使用したイベント等が行われている。大阪城公園には鳥やチョウなどの虫がたくさんいることをもっと知ってもらいたいし、生き物調査などもやってもらいたい。この会議のネットワークの中に大阪市の環境局以外の部署も含めてほしい。

戦略策定時のワーキンググループに庁内の他部署も入っており、連携している。大阪市域の生き物調査を毎月実施しており、12月には大阪城公園での生き物調査を実施している。レポートも「なにわエコスタイル」

(<http://naniwa-ecostyle.net/index.php/ikimonochosa>) に掲載している。

➤ 大阪市の事業における生物多様性保全への配慮について

・現在の戦略では、大阪市に関する事業において生物多様性保全に配慮するという内容が抜けていると考える。指定管理者主導の事業であっても、配慮していく必要がある。戦略の改定時に指摘していただくことが大切だと考えている。

➤ 第2回なにわECOスクエア(生物多様性の保全に向けたネットワーク会議)について

・12月18日(水)15時から、マイクロプラスチックをテーマとした講演会を実施予定。